

令和3年度 千葉県産米需要拡大推進功績者 表彰者・団体一覧

(生産者及び出荷取扱業者)

氏名及び名称	主な推薦理由	推薦者
<small>みち えき</small> 道の駅 <small>みのりのさと</small> の郷 <small>とうがね</small> 東金 <small>とうがねげんき</small> 東金元気づくり <small>かぶしがいしや</small> 株式会社 <東金市>	平成 27 年の設立以降、千葉県産米「ふさこがね」、「コシヒカリ」などを販売してきました。また、「粒すけ」は、販売開始時より試食イベントを開催、「粒すけ“いただきます”キャンペーン」などにも積極的に参加し、「粒すけ」の知名度向上に寄与した。 さらに米粉用米の販売、米粉を使用したパンやクッキーなどの販売も行い、米の消費拡大に尽力している。 その取り組みは、県産米の需要拡大に大きく貢献しており、その功績は顕著である。	東金市長

(販売業者)

氏名及び名称	主な推薦理由	推薦者
<small>しぶや りえ</small> 澁谷 梨絵 (株式会社シブヤ) <松戸市>	平成 15 年に米穀業に就き、平成 18 年に代表取締役役に就任した。その後、平成 20 年から都内有名百貨店等に次々と出店し、そこでこだわりの千葉県産米の販売を行い、本県産米の拡販に努めている。 また、氏は日本で唯一、お米マイスターやごはんソムリエなど穀物の 6 大プロフェッショナル資格を持つ女性米屋として、多くのメディアにて紹介されており、各メディアでお米の魅力を伝え、お米の消費拡大に寄与しており、その功績は顕著である。	千葉県米穀小売商業組合

(消費者団体及び栄養・生活改善関係)

氏名及び名称	主な推薦理由	推薦者
<p>いしばし きょうこ 石橋 京子</p> <p>(食育事業 講師)</p> <p><習志野市></p>	<p>県民を対象とした食育・健康料理教室では中心的な立場として運営に携わり、ご飯を主食とした和食の良さを多くの県民に伝えてきた。</p> <p>また、お米を使った料理教室や太巻きずしの講師を多数務め、さらに子供対象の太巻きずしデザインコンテストでは企画運営等をはじめ中心的役割を担った。</p> <p>ゆめ半島ちば国体では、おもてなしレシピ集の作成、全国郷土料理サミットにおいてもレシピの作成や撮影用の料理作製に協力し、広報活動にも貢献してきた。</p> <p>食育・料理教室を積極的に推進するなど、米の需要拡大への貢献は非常に大きく、その功績は顕著である。</p>	<p>公益社団法人 千葉県栄養士 会</p>

(学校給食関係及び大型外食事業者)

氏名及び名称	主な推薦理由	推薦者
<p> <small>のうぎようきょうどう</small> いすみ 農業協同 <small>くみあい</small> 組合 <small>だいひょうり じくみあいちよう</small> 代表理事組合長 <small>はなざき たかし</small> 花崎 隆 </p> <p><いすみ市></p>	<p>いすみ市の環境と経済の両立を目指す「自然と共生する里づくり連絡協議会」の設立当初より副会長として、有機稲作の推進に積極的に努めるとともに、地域で生産された有機米の集荷を一手に引き受け、有機米のPRと販売を行っている。</p> <p>特に有機米の学校給食導入に関しては、有機米生産開始当時より生産者及び自治体と協議をし、積極的な導入に尽力した。生産量の拡大とともに導入量も拡大、2018年には市内全小中学校の全量有機米の供給を達成し、地産地消にも大きく貢献している。これは、全国的にも先駆けた取り組みとして注目を浴びている。</p> <p>また、今年度より大手企業の有機米産地入りも果たし、学校給食の事例と併せて千葉県産米の知名度向上に繋がり、需要拡大に大きく貢献しており、その功績は顕著である。</p>	<p>いすみ市長 夷隅農業事務所長</p>
<p> <small>かぶしきがいしやかわしまや</small> 株式会社川島屋 </p> <p><千葉市></p>	<p>昭和 56 年に米飯工場を建設し、平成 4 年より学校給食として千葉県産の炊飯米を県下学校に供給している。また、千葉県内を中心として量販等へ千葉県産米を使用した炊飯米、おにぎり等を納品している。</p> <p>これらの長年にわたる県産米の需要拡大への功績は誠に顕著である。</p>	<p>千葉県主要食糧流通推進協議会長</p>